

起因物、事故の型：その他の起因物 - その他の死傷災害発生事例（2017年）

2017 年 発生 月	時間	死傷災害発生事例	年 齢	業種小 コード	労働 者規 模
1	0～1	営業所員から、業務時間中や業務時間外に度重なるセクハラ行為（メールや電話）を受けたことにより、うつ病と診断される。	25	80409	1～9
1	4～5	ご入居者が居室にて、ポータブルトイレに向かって立っていた際にバランスを崩して倒れそうになった所を入口にて発見する。慌てて駆け寄りご入居者を後方より抱えたような状態で一緒に倒れ込み、ポータブルトイレの手すりに右肘を強打する。その際の衝撃により、手すりのプラスチック部分も破損する。	54	130201	50～99
1	14～15	施設内デイルームにて、椅子に座り下向きに屈んで、利用者の手足の爪切りを行っている時、利用者に突然げんこつで一撃され、防ぐ事が出来ず、胸を受傷した。	67	130201	10～29
1	11～12	前方より両手をつなぎ、認知症高齢者を誘導中、介護士の右腕、指などを強くつかみ捻る等され、右腕と指を負傷した。	41	130201	—
1	0～1	利用者の自宅へ数カ月毎に介護サービスを行う為に訪問していた。その利用者が結核を患っていたことが判明し、保健所より検査を依頼された。検査の結果、結核が発症しているとの診断を受けた。	67	130201	—
1	13～14	入居者の居室内にて、車椅子からベッドへ移乗介助をしようとした際に抵抗があり、右手人差し指を強く握られひねられた。無理に離そうとすると入居者が内出血等のケガをしてしまう可能性があった為、手を離してくれるのを待っていた。	40	130201	10～29
1	11～	店内トリミング室にて、お客様からお預かりした猫をトリミングの為にキャリーから出した直後、トリミング室の左奥（入口から見て）に逃げ	23	80209	1～9

	12	てしまい、捕獲する際に左腕の肘から上、手首、薬指、人差し指、右腕の肘から手首にかけて猫に噛まれてしまった。			
1	1～2	乗り場にて立ち番をしていたところ、男女のスノーボーダーがスピードを落とさず進入してきた。危険と思い乗車待機場所に立ち、減速・一旦停止を促すも、女性の方が停止しきれず倒れかかってきたところを支えきれず、一緒に転倒した。その際に女性の肘が右足首に当たった。	19	140309	10～ 29
1	18～ 19	就業先養護老人ホームにて、入所初日の利用者（70代男性）に食事を提供したが、一口も食べていなかったため、個室に食事を置いておく旨を伝え、被災労働者が付き添って個室に入ったところ、利用者が興奮状態になり、個室で被災労働者の襟元を掴んで壁へ打ちつけ、拳で顔面を2度殴られ、首から肩を痛め、口内出血を伴うケガを負った。この利用者には精神障害の症状（アルコール中毒）があり、自立支援を目的とした入所でもあった。	37	170101	1～9
1	10～ 11	店舗内調理台後方洗台の洗槽において、板の上で鯛の鱗を取り除く作業中、鱗取り具を右手に持ち、尾ひれ側から頭部へ向けて鱗を取り除いている際、右示指が胸鰭に刺さり被災した。原因は、鱗を取り始める前に、胸鰭を切除していなかったためである。	50	140201	1～9
1	23～ 24	工場内の片づけ作業のため歩行していたところ、その上ではしごを登っている人が誤って手を滑らせて落ちてきた。その際に、その人の体が頭に当たり、地面に倒れてけがをした。	48	10805	50～ 99
1	15～ 16	本館2階検査室にて、精神科の患者のエコーをとる際、本人が何度も立とうとして落ち着きがなく、介助していたが、本人が強く抵抗し、左手親指をつかみ外側に強く曲げた。直後に親指付け根が赤く腫れ、強い痛みが生じた。	43	130101	500 ～ 999
2	5～6	夜勤中に、3F入居者の男性（約44kg、認知機能に障害がある方）がベッドの上で暴れていたため部屋に入ったところ、入居者が、右大腿部に湿布を貼ることを希望されたため、ズボンを下ろした時、再び暴れ出して被災者の左手首を掴み強い力で引っ張り振り回された。そのため、被災	46	130201	50～ 99

		者の左腕に痛みがあり力が入らなくなった。			
2	23~24	客を乗せタクシー運転業務に従事中、料金精算作業の際、乗客である第三者がブレーキの踏み方が悪いと言って暴言を吐いたり、唾を吐きかけたり、右手で運転手の顔面を殴り左顎等に傷を負わせた。	62	40201	50～ 99
2	9~10	オムツ交換時、経管栄養後の為ベッドアップの状態であり上半身が左に傾いていた。体勢を直そうとベッドサイド右側より、1人で患者の上半身を手前に引こうとしたところ背部に痛みを感じたが日勤業務を行った。背部痛、頸部痛があり受診したところ骨には異常なしとの事であった。再受診の際に頸椎捻挫と胸背部筋肉痛との診断にて、10日間の安静加療期間を要する。	29	130101	300 ～ 499
2	7~8	手袋着用の上、患者に採血を施行した。採血が終了し、抜針の際に針先の一部が出ていたが、それに気が付かず左第2指に刺した。出血は少量だった。後日、当該患者がHCV陽性であることが発覚した。その翌日、針刺し後の血液検査を行った。数日後、倦怠感、発熱があり受診した。その後、倦怠感と胃の不快感は持続した。その後の受診により急性肝炎にて入院した。後日、検査の結果原因は先日の針刺しが原因であったことが発覚した。	29	130101	1000 ～ 9999
2	0~1	特養入所者定期検診にて、入所者が結核陽性判定後、約2ヶ月半、結核性疾病にて入院加療していた。それ以前の職員の定期検診では異常無しであった。入所者の結核罹患を受け、当月に特養職員血液検査が実施され、結核陽性反応が出た為、紹介状を貰い翌月精密検査を受け、その翌日、電話にて結核性疾病を通知され結核専門の病院を紹介により受診し、即日入院となった。	37	130201	50～ 99
2	0~1	特養入所者定期検診にて、入所者が結核陽性判定後、約2ヶ月半、結核性疾病にて入院加療していた。それ以前の職員の定期検診では異常無しであった。入所者の結核罹患を受け、当月に特養職員血液検査が実施され、結核陽性反応が出た。翌月に精密検査を受け、3日間の検査入院の結果、結核菌の陽性反応が出たが排菌が無い為入院はせず、自宅にて投	52	130201	50～ 99

		薬開始となる。			
2	9~10	就業地であるサービス付高齢者向け住宅にて当月下旬から介護サービスを受けていた利用者が疥癬に感染していることに気付かず利用者に対して通常の介助をしていたため感染が拡がり、当月末頃には痒みの症状が数名のスタッフから出た。最初の利用者が受診した結果、疥癬と診断された。疥癬が疑われるためスタッフが当月末に病院を受診し検査したが認められず、翌月初めの再受診の際に疥癬に感染していることが判明したものである。	60	170101	30～ 49
2	8~9	当社、調理場にて、換気扇の油汚れの拭き取り作業中、右手中指を切り負傷する。	64	140209	30～ 49
2	11~12	浴室でご利用者様の入浴介助をしていた。この日の入浴されていた方は要介護4~5の方で、2人介助でストレッチャーへの移乗を行い介助をしていた。あるご利用者様を入浴用のストレッチャーへの移乗介助を、上半身側を持って行った。その際、左腰に電気がはしるような強い痛みを感じた。	22	130201	100 ～ 299
2	3~4	利用者の個室で、就寝中のベッド上で体の向きが90度ずれている利用者の向きを直そうとしている時に、利用者の体を尻を軸に動かそうとしたが、利用者の体が不安定で、それを支えようとして腰を痛めた。	25	130201	—
2	9~10	店には、お客様が食事代を払わず、後日払うと言われ、店を出られた為、店外まで追いかけて支払いをお願いしたところ、お客様が逆上し顔を1回殴られた。急いで店内へ逃げ込んだが、お客様がフロントセンター内まで追いかけてきて、押し倒され、顔を1回、後頭部を1回殴られ、さらに、腰を1回、足を1回、顔を1回殴られた。合計3回殴られ、3回蹴られた為、顔、膝、背中を負傷したものである。	55	140201	10～ 29
2	10~11	山林において伐採作業を行っている際、伐採した木が自分の立っている岩の上に倒れてくるのを恐れ、避難した時、自分の右足の裏に5cm未満（鉛筆位の太さ）の雑木が刺さっている痕があったので、すぐに病院に行き治療を開始する。	35	60201	—

3	11~12	病院診察室にて猫の診察中、保定をしていて噛まれた。	45	170209	1~9
3	15~16	当施設内での利用者介護中、利用者をベッドから車椅子に移乗させる際、利用者の両足の間に本人の右足が挟まれ、そのまま利用者が倒れ、本人は右足膝関節半月板損傷と前十字靱帯断裂を負った。原因は、危険予測が不十分であったこと、利用者の行動把握ができていなかったことにある。	54	130201	100 ~ 299
3	9~10	洗面所で患者A（身長161cm、体重80.5kg、男性25歳、知的障害）の洗面介助のため、患者Aの正面に立ち電動カミソリでひげを剃っていた際、患者Aが被災者の顔をなめるような仕草をしたため、患者Aの体を手で押さえたところ、患者Aが被災者の頭を両手で挟むように数回叩いた。両耳の閉塞感と音や声の聞こえづらさを感じるようになったが、その日は経過観察をすることにした。しかし、数日経っても両耳の閉塞感と聞こえづらさが続いた。	47	130101	100 ~ 299
3	10~11	当社1F抜梱室にて、冷凍さわら（20kg、20~30尾の冷凍ブロック）の抜梱作業（ダンボールから冷凍さわらを1尾ずつにバラす）をしていたとき、右手にさわらの背ビレが刺さった。	64	10102	50~ 99
3	13~14	当院西2病棟内のナースステーション内において、当該病棟に入院中の患者様より、ナースステーション内の公衆電話を使用したいとの要望があり電話をかけていたところ、急に興奮状態で電話を切ったあと突然振り向き、側にいた看護師に殴りかかり、頭部や顔面にかけて殴られ、眼鏡が破損して右頬部に切り傷を負った。	57	130101	500 ~ 999
3	12~13	本社で会議に出席した後、本社の向かい側にある喫茶店で会議参加者と昼食をしていた。そこで食べていた約5cmのブロック状のステーキが喉に詰まり意識を失って倒れた。同席者等が対処したが詰まりが取れず救急搬送された。	59	10101	100 ~ 299
3	10~11	施設利用者（障害区分6、重度）を昼食前にトイレに誘導しようとした時、利用者が興奮されて右手の指が労働者の右眼に入り負傷した。普段	29	130201	10~

		から興奮が強い利用者で体格も良いため、トイレ誘導や食事介助等の業務は2～3人が対応していた。			29
4	11～ 12	利用者様宅でサービス終了後、室内で報告書を記入していた時に猫が膝の上に乗ってきた。終わって立ち上がった際に猫に咬まれ、猫の菌により感染症を発症した。	52	130201	10～ 29
4	17～ 18	透析室内において、C型慢性肝炎患者の穿刺後、使用済み穿刺針を廃棄する際に針を持ち変えようとして、誤って左手掌に針を刺してしまった。	39	130101	10～ 29
4	12～ 13	店内厨房の作業台にて鶏肉に片栗粉をつけている時に、作業台の後ろにある冷蔵庫の扉を別のスタッフが開けようとした時に、冷蔵庫の中の圧が強く開きづらかったので強く引いたところ、肘が後ろにいた被災者の脇腹に強くあたり骨折した。	41	140201	10～ 29
4	16～ 17	支援中利用者から背中を掻くよう要求がありソファで膝枕で背中を掻いていた。利用者の手の甲がいきなり顔面・眉間に強くあたった。その後も支援していたが、首・肩に違和感が出始め、頭痛・肩・首辺りに痛みの症状が出た。	59	130201	100 ～ 299
4	17～ 18	エレベーター扉前で配膳車を病棟に搬入するため扉を開けた際、患者が飛び出そうとしたため制止した際、患者より暴力行為を受け、眼の周囲及び両膝を受傷した。	55	130101	100 ～ 299
4	9～ 10	障害児の施設へ園児の登園の為マイクロバスを運転していたが、施設へ到着する直前に意識を失い、施設の壁面に衝突してしまった。乗務員の身体的異常が原因と思われる。	78	40202	
4	19～ 20	施設内で、利用者様に口腔ケア作業中、指を口の中に入れ口の中の側面をこすっていたら、突然利用者様が首を振り口を閉じたため、右手人差し指を噛まれた。	20	130201	50～ 99
4	9～ 10	介護施設で入居者さんの介護中、別室の入居者さんよりナースコールが何度か鳴り、作業を中断してナースコールを鳴らした方の所へ行き、待つて頂くようお願いしたところ、自分を優先しろと暴れ、足が左胸部	41	170101	500 ～ 999

		に当たり左肋骨軟骨不全骨折した。			
4	15～ 16	工場女子トイレにおいて、退室時にトイレ用スリッパから室内用スリッパに履き替える際にトイレのスノコに躓き、前に置いてあった別のスノコの角で左足中指付け根に創傷を負い、傷口が化膿して左足が腫れた。	19	10109	100 ～ 299
4	0～1	事業所施設内居室で入所者に声を掛けながら定時のオムツ交換作業をしている際に、入所者が突然怒りだし暴れ始めた為、同僚に協力をお願いし、なだめながら作業をしていたが、両足の踵で左胸部分を数回蹴られ負傷した。	56	130201	50～ 99
5	14～ 15	被災者は、店内レジ付近で入店して来たお客様に應對した際に突然襲われ手・腕・脚・腹等を蹴られ右手首を骨折した。尚、加害者は警察に取り押さえられた。	59	80209	10～ 29
5	19～ 20	当園学校寮内において、生徒の行動（自分のやりたいことを無理に通ろうとし、それが出来ないと分かると外に出ようとしたこと）に対し、注意を与えたところ、生徒が暴れだし、それを止めようとしたところ複数回殴られ、頭部及び首を痛めた。	23	120109	10～ 29
5	11～ 12	不在荷物を宅配BOXに入れようと、台車から荷物を持ち上げたところ、腰に痛みがはしり立てない状態となった。その後、ギックリ腰との診断を受けた。	30	40301	50～ 99
5	12～ 13	お客様のご自宅の庭にて、中型犬の散歩をしてリードを外そうとした時に噛まれた。	36	170209	1～9
5	9～ 10	被災運転士がバス停にて降車客扱い時、相手方（乗客）がICカードで料金を精算直後、左手拳でなぐりつけた。被災運転士と相手方は一切対話等はなく、相手方（精神障がい者）の発作のような状態であった。	56	40202	100 ～ 299
5	21～ 22	店舗ホールの座敷に猫が入り込んでしまい、従業員3名で個室へ追い込み捕まえようとする。捕まえた時に頭部、顔面、左腕、左手首に咬傷、搔破傷を負い、外へ追い出す間ずっと左手首を噛まれていた。	19	140201	10～ 29
		原付自転車で朝刊配達途中、配達するのにバイクを停める為エンジンを			

5	4～5	切り、バイクから降りてスタンドを出したつもりが出ていなく、手を離れたところバイクが倒れて下敷きになり、尻もちをついて臀部を負傷した。大したことはないと思い我慢して働いていたが、ばい菌が入り化膿して腫れ上がった。	66	80409	10～ 29
5	17～ 18	利用者様送迎中、運転時に車内後方から児童（利用者様）が飛びかかり、口と鼻を塞ぎ顔を左斜め後ろへ引っ張られる。	41	130201	1～9
5	10～ 11	支援室で利用者の移動誘導中に、急に体を動かし、暴れそうになったため制止しようとしたとき、利用者の頭が自分の頭（前頭部）に当たり、脳震盪を起こし倒れた。意識はあったが、打った部分の痛み、手足の痺れと気分不良があった。	33	130201	30～ 49
5	0～1	病棟内にて、数ヶ月前にスライドボードを利用した入浴介助に伴う患者の運搬と、当月と翌月に入浴介助業務を行い、それ以外は病棟内で看護師一般業務を行っている。当月に入院患者に疥癬の診断があり、病棟内で感染拡大予防策を強化されたが、身体の一部に発赤と掻痒感があり、疥癬と診断される。	45	130101	100 ～ 299
5	6～7	オムツ交換中、声かけ後にオムツに触れた時に、患者から「何をする」と急に手を上げられそうになった為、顔をカバーしようとして右手でかばおうとしたとき、右手小指に当たり骨折をした。患者は、認知症であった。	59	130101	100 ～ 299
6	9～ 10	派遣先フロアーにて、当日、外出許可が下りていた利用者を利用者の息子が連れ出す際、許可が下りていない他の利用者も連れて行こうとしたため引き止めたところ、口論となり左胸を3、4回叩かれ、左肩を掴み前後に揺さぶられ、左手首を握られた。その後、痛みを感じながらも、その日の業務は定時までに行い帰宅した。翌朝も痛みがあったので病院を受診した結果、左胸左肩打撲、左手首捻挫と診断された。	63	130201	10～ 29
		バスターミナルで、降車してくるお客様に歩行者通路への案内、及びバス道路への侵入防止業務についており、この時も停留所に進入してきたバスの左後方で待機していた。バスが停車し扉が開くと、先頭で降車し			

6	10～ 11	た男性客が、バス道路を横切ろうと小走りで向かってきたので、歩行者通路を案内しようとしたところ、男性客の右肩が胸に当たり、後方に飛ばされるように仰向けに転倒した。その際、左腕を擦り剥き、右腰辺りに痛みを感じた。	68	170201	10～ 29
6	8～9	水産作業場で、まな板の上でかつおを仕込中、かつおのヌメリで滑って、右手人差し指にかつおの背びれの骨が刺さった。当日は休診日だった為、後日受診し、右示指皮下膿瘍、右示指挫傷、異物刺入と診断された。	68	80201	300 ～ 499
6	14～ 15	自社資材置場にて、草刈作業中に虫に刺されたと思われる。自宅に帰ってから痒みが出て、就寝時には患部が熱く赤く腫れていた。	38	30201	1～9
6	13～ 14	ハウス内で人参の草抜きをしている時に、マムシがいることに気付かず作業を続けていて、草を抜こうとした際にマムシに右手人差し指付近を噛まれて負傷した。	72	60101	10～ 29
6	8～9	館内2Fのフロアにて、認知症の入居者様の食事介助中、足を蹴り上げられたところ当人の左膝に当たり、腫れが出た。	57	130201	30～ 49
6	12～ 13	デリカ部門作業場において、床用洗剤の源液の入れ替え作業を行っていたところ、誤って洗剤の入った容器の蛇口を「開く」にしたまま容器を持ち上げたため、左腿に液がかかり、肌がただれたものである。	22	80209	50～ 99
6	19～ 20	帰宅後、両手の人差し指・中指・薬指の計3本の指の付根付近に痛みとしびれが生じた。翌日に病院を受診したところ、腱鞘炎と診断された。その後も業務に従事し続けたところ、痛みがひかず、新たに親指にも痛みが生じ、手根管症候群と診断された。	43	170209	30～ 49
6	16～ 17	3階病棟入院患者の接触者で、被災者は陰性（－）であったが、後日、QFTゴールドが陽性（＋）と判定され、検査入院となった。痰の培養は3回の検査でも陰性（－）であったが、結核感染のため、内服治療開始となった。尚、結核の発症はしていない。	32	130101	100 ～ 299
		共有林の山で荷役作業中、首付近を虫に刺されたが、そのまま仕事を続			

6	16～ 17	けた。荷下ろし現場に着いて気分が悪くなり、意識を失い、荷下ろし現場作業人が救急車を呼び、救急搬送された。	59	40309	1～9
7	10～11	当施設内で入浴介助中に暴れた利用者に喉付近を強く突かれ頸部を負傷した。	49	130201	50～ 99
7	16～17	放課後児童デイサービス支援中に利用者を連れて、スーパーに買い物に行った。レジでお金を払うために、利用者と繋いでいた手を離れたところ、突然左ななめ後方から利用者に押されてしまい、倒れる時に、カウンター角に肋骨をぶつけてしまい骨折とひじを損傷した。	57	130201	30～ 49
7	20～21	鮮魚作業場にて、マグロを包丁で加工中、左手で包丁の先端を押さえていたが、包丁を握っていた右手を動かした際に包丁が滑り、左手の平の中央部分を刺してしまった。	49	40201	100 ～ 299
7	11～12	飛天馬上にて、電動サンダーで鉄管を切っている時に、鉄管にはじき返された電動サンダーが顔面を直撃した。手が当たったが顔面を切りつけてしまったと思い、咄嗟に電動サンダーから手を離してしまい左大腿部に落下し、高速で回転するディスク部分により裂挫創となったもの。	27	170201	—
7	9～10	ゴミ用のコンテナが数台並んでいるところで左手でコンテナを支え右手でゴミをコンテナの中に捨てていた時に、地面に穴があいていたため、コンテナの車輪が落ちて、コンテナが傾き、慌てて左手を引いた時に、コンテナの溝に小指をひっかけて脱臼骨折した。	43	170101	1000 ～ 9999
7	16～17	2病棟2階喫煙所にて休憩中に、目まいがすると下を向いた所、そのまま地面に肩より倒れこみ心肺停止し、救急搬送した。	39	50101	1000 ～ 9999
7	13～14	二人介助の利用者様を湯船から介助チェアーに移乗する際、左足、第2趾をタイルで擦った際に傷ができた。移乗介助時には入浴介助スリッパを脱いで行っていた。帰宅後、自己にて消毒とカット判で処置を行った。翌朝、腫れと痛みはあったが軽い炎症と思い出勤した。途中、頭痛と吐き気のため早退した。夜中に高熱が出て緊急入院にいたる。	23	130201	50～ 99

7	14~15	店の外周に於いて、除草作業後の刈草を集めようと草の下に手を差し入れた時、マムシに右手中指を咬まれ受傷した。	49	30199	30～ 49
7	20~21	病棟のパントリー内で、入院患者に、薬を配っていた時、突然1人の入院患者がパントリー内に入り、何も言わずに私の頸部に腕を巻きつけ、シャーペンで、私の顔面を殴り、左上腕も咬まれ、流血し受傷。	43	130101	1000 ～ 9999
7	11~12	書留郵便物を配達するため、玄関先でインターフォンを鳴らし待っている時、お客さまが駐車場で飼っている犬が突然襲いかかり足先を数回かまれ負傷。普段は、駐車場の端でワイヤーでつながれており、玄関までくことはできないが、当日はワイヤーが切れたため襲いかかったものの。	44	110101	300 ～ 499
7	11~12	草刈り作業中、フェンス周りを、草刈りしながら前進している時に、釘を踏んで、左の足の裏を負傷した。当日は傷を水で洗い流して止血したが、翌日に化膿してきた。	45	30199	10～ 29
7	11~12	当施設の2Fトイレ内でトイレ介助中、利用者の紙パンツやズボンをはかせていた当事者職員の腕をつまんだり、捻ったりしていた。大腿部あたりまではかせた時に、しゃがんではかせていた当事者職員の顔面に利用者の右手握り拳がパンチするような形であたり、口腔内に極微量の出血があり、強く握られた手にも痛みがある。	51	130201	50～ 99
7	10~11	水稻に生える雑草を鎌で取り除いていた最中、左手で雑草を掴んだ際、畦際からマムシにかまれた。	28	60101	10～ 29
7	9~10	病棟隔離室内で看護師2名とオムツ交換中に突然抵抗され、膝で胸部を蹴られた。普段より暴力行為があり、処置や看護行為施行時は職員複数名で対処していた。	33	130101	100 ～ 299
7	8~9	出社約2時間後に積み込み、その約2時間半後に卸しの作業際に熱っぽくなり、目眩及び倦怠感に襲われる（発熱ナシ）。その後出発し、別の場所での積み込み時、水分を摂るも改善せず、団地石油にて卸し（具合悪い状態が続く）作業を行った。熱・倦怠感があるなか帰社した。帰社後、受診中にクリニック内で倒れ、病院へ救急車で搬送集中治療室へ入	46	40301	100 ～ 299

		る。10t大型タンクローリー車、ワンマン車に乗っていた。出発時点呼に異常はなく、本人に持病はない。作業所は直射日光を遮る物は無い。			
7	16~17	病棟内にあるデイルームで入院患者に、突然右目を殴られ胸を蹴られた。	34	130101	100 ~ 299
7	8~9	外国人技能実習生の面談のため客と共にベトナムへ出張に行った。その際、蚊に刺された、帰国後6日後に発熱し2日後に受診、その2日後に特殊感染のおそれがあるため転院となる。精査の結果、デング熱と判明した。	32	170209	1~9
7	7~8	2階フロアの自席で、入居者の口腔ケアの介助中に、拒否が強い方のため2人で介助をしていたとき、右手をつかまれ親指を強くひねられた。	59	130201	50~ 99
7	14~ 15	柔道大会の試合中に、巴投げで投げられたあと、相手が跨るように覆いかぶさってきた。左膝が内側を向いた状態のところに相手が乗ってきて、バキッと音がした。	25	80209	100 ~ 299
7	13~ 14	活動室外のテラスにいた行動障害のある利用者に、活動室の中に入るよう声をかけたが、声かけに応じず腹這いになったため、さらに室内への移動を促し肩を引っ張ったところ、怒った利用者に蹴られて負傷した。	54	170209	100 ~ 299
7	15~ 16	施設内の居室で利用者が大声を出し、車イスに座った状態で義歯を片手に、もう一方の手にコップを持って大声を出しながら振り回し暴れていた。居室に入り扉を閉めて、声かけしていると隣の部屋の入所者が入ってきて、二人で言い合いにならないような大声のやりとりになってしまった。フロアには他のスタッフがいないため、隣の部屋の利用者にその部屋から出てもらおうと後ろを向いた際、両足で右膝裏辺りを蹴られた。	44	170101	1000 ~ 9999
7	7~8	本社被害社員が構内に歩いているとき、同じく加害社員が突然後頭部から首の間辺りを殴打したため、白内障を発症した。その少し前にも被害社員が加害社員を前方から足で蹴っており、二人は半年前から口頭ケン	64	40201	300 ~ 499

		力の争いがあったとのことである。			
7	13～ 14	製品配達先現場にて、トラックの荷台より約20kg前後の荷物を手降し運び込中、左足裏の母指球に水ぶくれが出来た。その後しばらく我慢していたが、水ぶくれが破れ、痛みも増してきた。	57	11202	1～9
7	16～ 17	障害者施設のグループホームに帰宅したが、鍵がかかっていたため、やむなく外で待機することとなった。部屋に入れない状態に利用者（障害者）が興奮状態となり暴れだし、それをなだめようとしたときに、利用者に蹴り飛ばされ、左足甲と指を負傷した。	60	130201	100 ～ 299
7	11～ 12	仕事のやり方について他の従業員と食い違いが生じ、口論となって揉み合いになり、牛の餌箱に倒れ込んだとき、餌箱の縁で左脇腹を強打し、肋骨を負傷した。なお、従業員同士の間に私恨はない。	34	70101	1～9
7	15～ 16	施設内浴室にて入浴介助の際、認知症（BPSD症状）の入居者が暴れ、左手を強打した。	57	130201	10～ 29
7	16～ 17	店内厨房でフライドチキンのブレンディング中、チキンの骨で誤って右手中指を刺し、患部に細菌が入り炎症を起こした。怪我をした当初は病院へ行くほどではなく、自分で手当てをしていたが、良くならなかったため後日病院へ行った。	21	140201	50～ 99
7	1～2	介護施設で入居者の介護時、車椅子への移乗や衣類、寝具、更衣、体の接触を介し感染した。	64	170101	100 ～ 299
7	21～ 22	店内客席にて、お客同士の言い争いの仲裁に入ったところ、お客様に左腕を掴まれて床に倒され、胸と腰を強打した。	39	140201	10～ 29
7	8～9	魚を調理中に目にうろこが入ってしまった。その際に目をこすってしまったため、眼球に傷、および異物が入り、しばらく目が開かなかった。	56	140201	1～9
7	13～ 14	3F老人保健施設の居室にて、定時の排泄介助の際、認知症のため理解が困難な方にいきなり左手を強く握られ、手をひねり回され、その後、痛	50	130201	100 ～

		みが持続した。			299
7	10～ 11	作業場でハマチをさばいていた際、骨が右手の甲に刺さり、右腕が腫れだして発熱した。	64	80209	50～ 99
7	11～ 12	労働者派遣先にて、クリーニング済みのシーツや衣類を畳んでいたとき、目眩・頭痛・足のしびれ等が発生し、熱中症と診断された。	54	11703	100 ～ 299
7	17～ 18	防護柵（GR・GP）設置工事の作業をしていた際、作業が終わり、トラックに乗ろうとしたときに立ちくらみがした。大丈夫だと思って事務所へ向かったが、体調が戻らず、途中で救急車を呼び、病院へ搬送された。	33	30106	—
7	9～ 10	閉鎖病棟にてスタッフが殴られ、駆け寄ったところ、同患者に突然殴りかかれ、倒れた後にさらに蹴られた。その後、様子を見たが、頭がボーっとするような気がするため受診した。	34	130101	100 ～ 299
9	6～7	牛舎搾乳場で搾乳中、乳牛の足が左手ひじの部分に当たりすり傷が出来た。その後、徐々に化膿が始まり左うでから手の甲にかけて腫れ、発熱した。後日受診し、抗生物質の投与が必要ということで、入院に到った。	27	70101	1～9
9	12～ 13	児童発達支援の保育中、利用者の5歳児男子と遊んでいる際に、利用者がバランスを崩し、被災者の胸の上に乗る形になり、その時は痛みを感じなかったが、徐々に左の胸のあたりに痛みを感じた。	41	120109	10～ 29
9	22～ 23	夜に他のご利用者様の居室に入ることがあり、注意をしたところ、興奮状態になり、職員の髪をつかみ、拳で左顎を殴られる。3階にいる職員に助けを求める為、内線にて電話中に背後より首を絞められ倒れた隙に馬乗りになり、殴られている最中に3階にいた職員が駆けつけ、静止した。	51	130201	30～ 49
9	21～ 22	利用者に話しかけていたところ、別の利用者に後ろから首～肩のあたりをつかまれ、おどろいて急に振り向いた時に首を捻って痛める。	63	130201	50～ 99
	22～	夜、終点停留所到着後、車内にてお客様同士で怒鳴り合いと殴り合いが			100

9	23	始まった為、止めに入った際に相手方一方より引っ張られたことにより、脱臼したものである。	29	40202	～ 299
9	19～ 20	路線バス運行中、乗客の一人が酒に酔い、車内にて他の乗客の迷惑となる行為（飲んだ酒の空き缶を投げる等）を行っていることが確認できた。その行為に対して、乗務員が途中のバス停で停車し、その男性に行為をやめるようマイクで注意したところ酒に酔った男性は乗務員席に詰め寄り殴りかかってきた。その時にもみ合いになり、首を痛め、足に打撲を負った。	47	40202	100 ～ 299
9	0～1	倉庫で紙袋にはいった石綿をトラックに積み込んで運搬、建設中のビルとか家の工事現場まで行き、トラックに積んだ荷物の石綿を降ろす作業をしていた。	76	40301	30～ 49
9	14～ 15	当該車掌は降車後、右目に痛みを感じ到着後、詰所にて目薬を差した、視力に影響なく運転にも支障がなかったため、乗務を続けた。その後痛みがあったので歩道へ、右目に痛みがあるが業務可能と報告し、乗務、後日、眼科受診した。	26	40101	100 ～ 299
9	5～6	沖約1kmの海上にて定置網の操業中、魚取りの甲板へタモで魚を移す際、タモが右足甲に当たり、その中に入っていた赤エイに右足甲を刺される。	71	70201	10～ 29
9	12～ 13	犬の散歩中に右前腕部をかまれ受傷した。	60	170209	1～9
9	14～ 15	施設内脱衣所にて利用者入浴のため、利用者を脱着衣介助しようと抱えているときに当該利用者に左前腕を咬まれ受傷した、その後、左手掌及び指先に強い痺れと受傷部分の痛みが増強したため、病院受診となった。	54	130201	100 ～ 299
9	0～1	口腔内吸引の際「口をあけるように」指示するが開口せず、看護師が開口しようとした際、口角から左人差し指を入れた時、手袋ごと左手第2指先端部を噛まれ受傷した。患者は指示に従える時とそうでない時がある、（日内変動あり）理解力については不明瞭、寝たきりの方である。	46	130101	300 ～ 499

		病名、脳出血後遺症、重度の意識障害。			
10	13～ 14	病棟内に疥癬患者が数名いてグローブやガウン装着し、日々看護ケアを行っていた。手背に発疹がみられるようになり受診し疥癬の診断あり。	37	130101	100 ～ 299
10	11～ 12	入居者様の部屋にて移乗等介護をしていたが、初め入居者様の病名が違 うものであり、発赤は他人に移らないと聞いた為、他の入居者様と同じ 対応をしていたが、後日疥癬の診断がくだされた際、自分にも発赤が出 来ていた為、病院受診し、卵のからが見つかり疥癬であると診断され た。	42	130201	50～ 99
10	14～ 15	新聞購読料の集金のため、オートバイを止め顧客宅を訪問したところ、 普段はつながれている中型犬がつながれておらず、右脇腹、右足ふくら はぎ、左足脛の順に噛まれ切創した。	66	80205	10～ 29
10	13～ 14	当社の動物病院内で治療のため猫を抱っこしていたところ、手をすり抜 けて逃げてしまったので、捕まえたと同時に他のスタッフが加湿器の フィルターを掃除しようとスイッチを入れたため、その音に猫が驚き飛 び跳ね、あわてて確保しようとした際、その猫にかまれ負傷した。	20	170209	30～ 49
10	9～ 10	職場の健康診断でバリウムを飲む。その後指示されたとおりに下剤を飲 みお通じもあったが、夜から下痢と腹痛となる。翌日も下痢と腹痛が続 き、後日激しい腹痛となる。	45	160101	300 ～ 499
10	4～5	営業車にて走行中、車の右側後部のドアを相手に蹴られたので、近くの 防犯センターへ相手を連れて行こうとしたところ、相手に左顎を殴られ て、受傷した。	46	40201	300 ～ 499
10	10～ 11	納品先に到着して荷物を下ろすためにトラックの後ろに回った時、急に 意識がとぎれて倒れ、頭を強打したもの。	72	40301	30～ 49
10	18～ 19	介護業務中、入居者様の居室から廊下に出た直後、不穏な状態になっ ていた認知症の別の入居者様から左胸部を背後から一回殴打され、打撲し た。	49	130201	10～ 29

10	18～ 19	美容院内で猫をシャンプーしていたら急に暴れだして逃げようとしたので捕まえようとしたら、猫がパニックになり右第2指第2関節をかまれた。	56	170209	1～9
11	6～7	福祉施設における業務中に施設内で流行していたウイルスに感染したものである。	64	130201	30～ 49
11	5～6	福祉施設における業務中に施設内で流行していたウイルスに感染したものである。	33	130201	30～ 49
11	23～ 24	福祉施設における業務中に施設内で流行していたウイルスに感染したものである。	19	130201	30～ 49
11	13～ 14	暴れているお客様を止め押さえようとしたら、右手で顔を殴られた。顔面（左目周辺）打撲・頸部むちうちとなった。	55	140201	10～ 29
11	13～ 14	暴れている男性客が、近くにいた女性客に殴りかかろうとしたのを止めに入ったところ、頭部を殴られた。右頭部打撲、頸部むちうちとなった。	22	140201	10～ 29
11	14～ 15	当月頃から体の不調感が出始め、39度の発熱で欠勤し、内科を受診した。当初は風邪かと思えばしばらく欠勤し、まだ体調は不完全であったが2日間出勤した。翌朝にまた高熱が出たため欠勤し、内科を受診した。解熱剤が切れると熱が上がるのと、熱が何日も続き過ぎることで風邪ではないかもしれないということで、詳しく調べるため別の病院に紹介状を書いてもらい、そのまま緊急入院となった。検査の結果、仕事の疲労の積み重ねにより抵抗力が低下しているところ、職場にて人獣共通感染症（コリネバクテリウム属、ジフテリア、大腸菌など）に感染し、それにより感染性心内膜炎を発症したとのことであった。	41	170209	10～ 29
11	16～ 17	荷降ろし作業中、トラックの前で待機していた際、フォークリフトがトラックの前で一旦停止したが、傾斜地でサイドブレーキが引いていなかった為、動いてしまい、フォークリフトの爪の先端とトラックのタイヤに挟まれ、左下腿部を負傷した。	36	130201	300 ～ 499

11	12～ 13	乗車中、3号車客室内で不正乗車を試みようとした20代女性旅客を降車させようとしたところ、爪で右腕を引っ掻かれ、右腕を3回引っ張られ、更に肩にボストンバッグを投げつけられて、受傷した。	29	40101	300 ～ 499
11	12～ 13	当日の就業場所への通勤途上において、当該美術館入場用のスタッフパスをスタッフから受け取るため、美術館玄関の向かって左側の敷地内で待っていた際に、酔っていた通行人にいきなり右腕を引っ張られ負傷した。なお、当該労働者は、当社の音声ガイドの機械貸し出しの業務を行う予定であった。	50	170209	100 ～ 299
11	11～ 12	冷蔵倉庫搬入口においてコンテナトレーラーを誘導していたところ、コンテナトレーラードライバーと口論になり、相手に両腕を掴まれコンクリートの柱に後ろ向きに強く押されたために負傷した。	56	170201	100 ～ 299
11	16～ 17	1-3病棟廊下において、日勤者からの申し送り後、患者様に挨拶の為各部屋に訪室していた際、先ほど訪室した患者様が後ろから走って来て、振り返る前に突然後ろから背中を2回殴打される。患者様に話を聞いている最中に腹部を1回殴打された。状況報告後、冷湿布施行し経過観察することにしたが、軽減せず医師の指示にて後日整形外科に受診する。胸部レントゲン撮影では明らかな異常は見られないとのことであった。精密検査の為MRIを受けるが体のサイズが合わず、他院に予約してもらったが月末とのことで自分で探し別の病院に受診となる。	33	130101	100 ～ 299
11	16～ 17	当社療育教室内事務室の洗い場で作業中、当社施設利用者（障がい児）が入室禁止の事務室に入りパソコンを触っていたので退出をするよう口頭で注意したが従わなかったため、児童の手を引き退出を促した際、下腹部を強く蹴られ、負傷した。	29	120109	10～ 29
11	16～ 17	事業所内で手袋の縫製作業仕上げの作業中、右手人指し指が製品に当たりタコになっていたところが傷になり絆創膏を貼っていたが、腫れてきたので病院で診てもらった。（怪我した日からしばらくは様子を見ながら仕事をしていた。）	75	10309	1～9
		施設のお風呂へ小5女兒を入れようとしていた時、小6女兒が現れ自分が			

11	16～ 17	先に入りたいからと無理やり脱衣場から出されそうになった。話を するが聞き入れず、髪を引っ張る等の暴力をされ、首がむち打ちのよ うになり痛めた。	23	130201	10～ 29
11	22～ 23	3階のスナックで、お客様の席に飲み物を持って行った時、お客様に強 く右胸をつかまれ負傷した。	24	140209	10～ 29
11	13～ 14	当社工場内タンクの洗浄作業を終え、タンクから降りようとしていた。 タンク横のホモゲナイザー機のカバーの天板に清掃道具を乗せていた 為、右足を間天板に乗せ踏んだ際、長靴の底が滑り天板の角に右太もも を打撲したが動けたのでそのまま作業を続けた。自分の判断で大丈夫だ と思いそのまま放置した。後日、内出血し腫れているようなので病院を 受診した。その後、通常通りの勤務が出来ていたが、しばらく経って高 熱が出たので病院へ行くと化膿していて、そのまま入院となった。	34	10106	100 ～ 299
11	13～ 14	国有林にて刈払作業中、ダニに咬まれ、頭痛、寒気、翌日より発熱し、 その後、入院した。日本紅斑熱と診断され、原因はマダニと断定され た。	49	60209	1～9
12	12～13	当社施設内に於いて、疥癬に感染しているとわからずに受け入れた利用 者に、介護や湿布を貼る処置などの看護行為をしていた際、直接接触し たことにより発疹と強いかゆみの症状が出た為、病院を受診したとこ ろ、疥癬感染が確認されたものである。	58	130201	10～ 29
12	11～12	調理場にて、鯛を調理していたところ、背びれ部が指に刺さり負傷し た。その後、当該箇所から菌が入り込み、後日、指が化膿し入院に至っ た。	63	140201	10～ 29
12	13～14	出勤してきた際、売場責任者より、「昨日、やったと言っていた事がで きていない」と注意された後、胸倉をつかまれて胸部を4、5回叩かれ た。	54	80201	100 ～ 299
12	11～12	朝食の服薬介助時にソファに座っている入居者に対し、しゃがんで水 を渡そうとしたところ拳で頭を5、6発殴られ、靴をはいた足で左足を 5、6発蹴られた。	54	130201	30～ 49

12	11~12	事業場内の器具洗浄コーナーにて、器具の洗浄作業中に器具を滅菌器に移動しようとした際に器具が手に当たり、右人差し指に刺さった。	28	130309	1~9
12	19~20	路線バス運行中に車道を歩行する第三者を発見した。第三者は突然バス直前を走って横切った為、バスは急ブレーキをかけたが間に合わずクラクションを鳴らした。第三者は鳴らされたクラクションに逆上し、次のバス停（駅ロータリー内）まで追いかけてきて、停車しているバスの前の道路を進路妨害した。仕方なく降りて話をしようとしたところ、いきなり突き飛ばされ負傷した。	57	40202	50~99
12	0~1	空車でタクシーを走行中、歩道に居た男にジュースの様なものを車にかけられた。車を止め、外に出たところ、男に顔面をなぐられ、その際に左膝を外側へひねってしまった。男は逃走してしまい、面識はない。	53	40201	100~299
12	5~6	東口よりお客様を乗車し、目的地を告げられ、とりあえず発車した。途中、詳しく場所の確認をした所、言葉のやり取りで口論になり、埒がわからず、交番に行こうということになり、また発車・乗車の場所に戻り、車から降りたとき、相手から一方的に暴力をふるわれた。その後、交番の方が来て、当社乗務員は救急車にて搬送された。	55	40201	30~49
12	15~16	精神科病棟ホールにて、お茶のコップの回収作業をしていたところ、精神症状不穏の患者が、他の患者に対して暴言を言っていたので、やめる様に注意をしたが、その患者が無視して暴言を続けたため2~3度注意を繰り返した。すると突然その患者が労働者に対して、顔面を2回平手でたたき、体を押したため机に倒れ込んだ。倒れたところに足蹴りを加え、椅子で殴りかかろうとしたところを他の患者が制止した。	49	130101	100~299
12	9~10	自動車部品製造業務に従事しているとき、午前休憩を終え椅子から立ち上がったところ意識を失いその場に倒れこんだ。裂傷の部位・形状から、倒れた際に顔から倒れこみ、掛けていた保護メガネにて右頬に受傷したと推測される。意識を喪失した原因については不明であり、災害性はない。	41	170101	300~499

12	14~15	入浴脱衣所にて、入浴後に衣類を着せようとしたとき、利用者より顔面を殴られた。	38	130201	50～99
12	11~12	学童クラブの室内で、子ども同士のケンカがあり仲裁に入った際、子どもの肘が右胸横側に入り当たった。痛みが伴うため湿布を貼って業務を続けていたが、室内で玩具の片付け中に子どもが指導員の前を通ったときに子どもの手が痛めた右胸横側に当たり、痛みが増し、業務を続けることができなくなった。	59	170209	—
12	4~5	店内を巡回中にお客様に抱きつかれ、肋骨を骨折した。	25	170101	1～9
12	21~22	洗い物を担当していたとき、手荒れ箇所が菌が入って膿んでしまい、全身に発疹が出た。	62	140101	50～99
12	9~10	北館へ向かうため、南館1Fにてエレベーターに乗り、行き先ボタンを押そうとしたとき、外来患者（69歳・男性・統合失調症）が飛び込んで乗って来て、扉が閉まり、8Fへ向かうエレベーター内にて患者と二人きりになると急に話しかけられ、8Fに到着するまでの間に、突然拳で頭部・顔面・腹部を十回程度殴打された。	47	130101	500～999
12	10~11	作業場で平爪蟹を調理していた際、右手親指に平爪蟹の足が刺さった。発症が遅れたため、右手親指外傷および二次感染となってしまった。	47	80201	50～99
12	0~1	厨房にてグラスを洗っているときに、グラスにひびが入っていることに気づかなかつたため、割れた際に右手中指から手の甲にかけて切創した。	26	140101	10～29

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_08.html